事例No.	2339
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	岡山県新見市

事例区分	地域活性化

タグ	・公共施設活用 ・関係人口 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

IT×森林×廃校　環境管理型きくらげ生産事業

出典

ローカル10,000プロジェクト　ー地域密着型の起業や新規事業を支援します！

ローカル10,000プロジェクト 岡山県新見市
「IT×森林×廃校　環境管理型きくらげ生産事業」

令和元年度採択

【事業背景】

〇若者の都市部への流出が続いており、全国水準を上回る人口減少が進んでいる。

〇豊富な森林資源があるが、活用がされておらず、地域活性化を進める中で活用を模索する必要がある。

〇少子化の進行を背景に、利用されなくなった校舎等など、多数の遊休資産を有しており、取壊しなども検討しているが、費用負担が大きく、活用の促進を検討する必要がある。

【事業実施者】 新見ファーム合同会社

【自治体・金融機関の支援内容】

〇公費による交付額：

国費（地域経済循環創造事業交付金）：16,000千円

地方費：8,000千円

〇トマト銀行による融資：12,000千円

備北信用金庫による融資：12,000千円

【取組内容】

〇廃校となった遊休資産を改修整備し、IT技術を活用したきくらげの生産事業を実施

〇コンピューター制御により温度・湿度・水分管理が可能な栽培室を設け、黒きくらげ、白きくらげの通年菌床栽培を行う。

〇生産したきくらげは、個人消費者や外食産業事業者へ生食用として販売するほか、乾燥加工し、外食産業事業者、食品加工事業者等へ販売する。



栽培イメージ



活用した遊休資産



コンピューター制御による管理の様子

【地域への貢献】

〇地元に生物生産の知識を学ぶ県立高校があり、地元高校生の職業選択肢の１つになる。

〇木材資源の利用拡大につながり、林業の収益性向上に資する。

〇体力的負担が少ない作業が中心で、体力的に不安がある方の雇用に寄与する。

〇　遊休資産の有効利用